

【会議録】

会議名	第2回会計制度改革推進支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年2月2日（火曜日）午前9時から
開催場所	区役所9階913会議室
委員	<p>会計室長事務取扱会計管理者 亀田 賢治（委員長）</p> <p>企画経営部財政課長 若杉 健次（副委員長）</p> <p>企画経営部区役所改革担当課長 加藤 豊（委員）</p> <p>総務部情報政策課長 西川 杉菜（委員）</p> <p>街づくり支援部土木管理課長 杉谷 章二（委員）</p>
事務局	会計室公会計改革担当
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 第一次審査通過者の決定について</p> <p>3 第二次審査（プレゼンテーション）の実施について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
配付資料	<p>[席上配付]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 第一次審査結果表 ・ 資料2 第二次審査日程表（案） ・ 資料3 二次審査評価シート
会議の結果及び主要な発言	
（発言者）	<p>【1 開会】</p> <p>【2 第一次審査通過者の決定について】 （事務局より資料1による第一次審査結果説明）</p> <p>様式6業務従事予定者の配置計画及びスケジュールについて</p> <p>D委員 事業者番号02は統括責任者が顧問という役職になっていて、公認会計士の資格取得者が少なく、総括責任者以外の公認会計士は控えのような扱いになっているので、体制の評価は下げています。</p> <p>A委員 事業者番号01の方は、本業務に従事する人について、こういったことが専門でこういったことをやっていきますと記載されているところが、具体的に表れています。また、得意とする分野が羅列されたことによって、今後取り組んでいただく分野と目的が可視化されているのではないかと感じました。逆に言うと、事業者番号02の方は具体性がなくて、満足な対応が何かなど読み取れなかったというところで点数を落としています。</p>

【会議録】

B委員	事業者番号 02 は総括責任者が顧問で、実動部隊が別会社にいるということで、しっかり連携ができるのかというところに不安があったので、点数を厳しくしました。事業者番号 01 はそれなりに組織がしっかりしていますし、役割分担も例えばシステム担当を分けて付けるなど、そういう対応がしっかりしていると見えたため、相当点数の差が出たと思います。
E委員	事業者番号 02 は、書類審査で公認会計士が 1 人しか付かないとしか読み取れなかったため、低い点数になっています。事業者番号 01 の方は具体的に、例えば様式 6 では、営業日単位でもスケジュール調整する、また業務負荷が高くなる時期に豊富な人材を投下するなど記載されているため、その辺を評価して点数を付けています。
C委員	事業者番号 01 はバックアップ体制を整えているというのを記載してあるというのはいいと思います。確かにその部分は事業者番号 02 にはなく、また事業者番号 02 は公認会計士二名を控えにと書いてあるが、それが具体的に見えてこない。
C委員	様式 7～9 企画提案書①②③について 様式 7 については事業者番号 01 の方は、物足りない。事業者番号 02 は、自治体側で考えられたことに沿ってやっていきますという感じになっていて、方向ということでは、記載が余りにも少ない。
D委員	事業者番号 02 の方は公会計の行政経営の活用ということで、ちょっと幅が狭い提案ではないかと思いました。基本的には公共施設マネジメントへ展開しますとしか書いていない。あと研修で職員に行政コスト計算書を作ってもらおうという提案があったが、それよりも、結果を行政に活用するという視点が必要なのかと思い、点を下げました。事業者番号 01 の方は、セグメント分析の行政評価への活用など書いてありましたが、プレゼンテーションで聞きたいことはいろいろあるという印象を持っています。
C委員	研修について、事業者番号 02 の財務書類説明会というのは面白いかもしれないと思いました。財務書類をどう読むべきかということで、区の実態というものをこういうふうにとらえられますよと、そういう機会を設けるのは面白い。ただ現によその自治体でやっているのであれば、やった結果こんないことが起きているとか、職員に喜ばれているとかそういうことが書いていない。
B委員	事業者番号 01 ですがそれなりにきちんと研修すると書いてあるのですが、企画提案書①に管理職に対してしっかり認識を持たせると書いてあるが、企画提案書③には管理職に対しての研修が抜けていたのでこのような点数にしました。

【会議録】

事務局	集計の結果、一次審査の順位は、1位が01事業者、2位が02事業者となりました。事業候補者選考方針では、第一次審査の満点の60%を基準点（最低ライン）と設定していますが、2者ともに達しています。
委員長	それでは、01事業者、02事業者の2者が、一次審査を通過するものとしてよろしいでしょうか。 (一同、異議なし)
	【2 第二次審査（プレゼンテーション）の実施について】 (事務局より資料2、3説明)
A委員	当日プレゼンテーションする人について何か条件を指定されるのでしょうか。 事前の質問回答では、会場には3人まで入れると回答しています。
事務局 委員長	プレゼンテーションをする人については、出来れば総括責任者ではなく、いつも港区と接点がある業務担当者、リーダーに説明してほしいと考えています。もしよろしければそのようにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。 (一同、異議なし)
事務局	当日の資料ですが、事前の質問回答でパワーポイント形式の資料を使っても大丈夫かという質問がありました。それについては、基本的にはプレゼンテーションは事前に提出した提案書に基づいてやっていただくのですが、必要があれば提案書の抜粋資料を使ってもいいと回答しています。
委員長	もしご異論がなければこの形で実施させていただきたいと思います。 (一同、異議なし)
	【3 その他】
	【4 閉会】